

お見舞いの文お寄せくださった皆様へ

吉澤です。

恩方同好会の仕事、八碁連の仕事、無我夢中で取り組んで楽しかしかつた。これからも同じ気持ちで取り組んで楽しんでいきます。

夜中 1 時頃目覚めると、お見舞い文を眺めてみました。机に座り、一人ひとりの文を読み楽しみました。この人とは、恩方のことや、八碁連のことを時間のたつのを忘れ話したっけ。この人とは碁を打つより、お酒を飲む方がおおっかなあ。そうだ、何人かいつも一緒だったなあ。この人とはいつも三人だったな、お昼を食べるのに、ビールが入ると時間のたつのを忘れ、八碁連のことに一生懸命だった。後ろ向きの意見はきいたことがなかった。楽しかった。この人とは、良く碁を打ちましたなー。朝方、4 時頃になり布団にもぐり寝ました。同じことを、2 晩つづけました。そしてようやくお礼の言葉が見つかりました。

「お見舞いの文ありがとうございました。感謝しています」

昨日は、近くに住む徳満さんが見舞いに来てくれました。私たち夫婦と三人でしばらく雑談を楽しみました。年上の人に励まされてしまいました。恩方には、スマホ、や、パソコンの苦手な人たちがたくさんいます。親しいその人たちと一日も早く交流できるようにしたいと考えています。

成田さん、インクの香のするうちにお見舞いの文届けていただき感謝しています。たまたま居合わせた娘二人の印象は抜群に良かったようでした。のんきな娘たちです。でも力になってくれています。

(令和4年9月14日)